

令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

当園ではこの度、令和6年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

当園は、仏教の知性と慈愛のもとに、幼児に良き教育環境を与え、明るく、のびのびと楽しい体験を通じて、社会に生命を生かす、自主的精神に充ちた心身共に、健やかな人間完成をめざし、仏の心として愛育助長したいと念うものです。

1. 元気なつよい子ども
幼児の心身の調和的な発達を図り、健全な心身の基礎を養う
2. きまりを守れる子ども
基本的、生活習慣と正しい社会的態度を育成し、豊かな情操を養い、道徳的芽生えをつちかう
3. のびのびとした創造性豊かな子ども
のびのびとした表現活動を通じて、創造性を豊かにする

II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上 ●安全管理体制の充実 ●保護者への発信 ●長時間保育の検討

III. 評価項目と取組み状況

評価項目		取組み内容	取組み状況
1	教職員の資質向上	オンライン研修が増え「実体験」が少ない状況下での学びを創意工夫し、子どもたちへの声かけや保育の流れに取り入れて、日常保育に活かしていく。	B コロナの収束により実体験を伴う研修に参加する事ができるようになった事で、これまでのオンライン研修と比較しても限られた回数の中で多くの学びを得る事ができている。 また、その学びを保育に実際に取り入れつつ、更に学びを向上させる事に繋がっている。
2	安全管理体制の充実	安全な園生活を提供するため、点検項目の見直しを行い定期点検を引き続き励行していく。	B 保育室の机や椅子等の交換を行い、定期的に遊具なども点検する事で子どもたちが安全に過ごせる環境を作っている。老朽化している場所や玩具等も破損が見られる事から、交換を進めている。
3		緊急時のマニュアル等を再確認のうえ整備し、地域との連携を図った訓練を試みていく。加えて消防署等の実地訓練や不審者対応訓練も実施していく。	A 月1回の避難訓練を行っている。マニュアルを職員に配布するだけでなく、実施前後に反省会を行う事で全員が共通の認識をもてるように取り組んでいる。また、火事を想定した訓練だけでなく、津波を考慮した訓練の実施にも取り組む事ができている。

令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

評価項目		取組み内容	取組み状況	
4	保護者への発信	保護者の共通理解を得ていくため、園の法人やねらい等を分かりやすく伝えることを常に心掛けていく。	A	園のSNSやアプリを通じて保護者に向けて保育の様子を伝えたり、連絡を行ったりすることができている。また、電子的な連絡だけに依存せず、紙での連絡との使い分けをすることで、より保護者に伝わる連絡ができるように取り組むことができている。
5	長時間保育の検討	人員確保等の職員負担軽減をはかりつつ、保護者ニーズに応え、保護者の安心感につながる、子どもを預けやすい環境を提供していく。	A	早朝保育、預かり保育および長期休みの保育を実施する事で保護者のニーズに可能な範囲で対応を行っている。なお、利用者は減少傾向にあるように思われ、フリーの先生の配置に伴って、負担も減ってきている。

【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	研修の回数自体が少なく、学びにこそ繋がっているものの、その回数と積極的な参加をはかることで更なる資質向上につながる。
2	安全管理体制の充実	交換をしきれていない点の対応はもちろん、危機管理に対する意識が向上するような研修を行ったり、点検に関するチェックリストの確認の励行を今後も実施していく。
3		地域と連携した取り組みはできておらず、実際の避難場所まで歩くといった事はできていない。子どもたちがそこまで歩く事ができるかという点も考慮した練習を行う事も視野に入れたい。また、不審者対応の訓練は実施できていない。
4	保護者への発信	アプリでの連絡事項について確認頂けない方には別途連絡を入れるような事もある為、漏れなく情報を見てもらえるような工夫が必要になっている。
5	長時間保育の検討	利用者数が減少している点について、ニーズとしての課題および配置としての課題があり、今後の早朝・預かり・長期休みの保育について方針を検討する必要性がある。

令和6年度「学校評価結果報告書」

学校法人 三宝学園
三宝幼稚園

V. 学校関係者の評価

教職員の資質向上について

教職員らが子どもたちのために多くの研修に参加し、日々の保育の中で活かす事ができている。

安全管理体制の充実について

消毒や清掃を丁寧に実施したり、園バスの乗降確認を複数人で実施されたりしている。教職員らの負担も増加されているものと感じるが、安心・安全に子どもたちが過ごせる環境を構築できている。また、定期的に行われている避難訓練は子どもたちの防災意識を高めるために重要な役割を果たしており、継続的な実施を希望する。

保護者への発信について

HP・SNS・アプリを通じて子どもたちの園での様子を知る事ができたり、写真を購入できる機会が増えたりしている。また、保護者からお休みや預かり保育の申請もスムーズに実施できるような体制に加えて、園からの災害や警報等を含む重要な連絡もアプリを通じて通知してもらえている。

長時間保育の検討について

早朝・延長保育の時間の拡大や、長期休暇中の預かり保育の日数を増やされており、働く保護者のニーズに対応する事ができている。教職員らの負担も増えていると感じるが、継続的な実施を希望する。

以上